

DC821  
7

朝鮮人移民對策案大綱

国立国会図書館



0024707-000

DC821-7

朝鮮人移民對策案大綱

滿鉄經濟調查會第二部農業及移植民班

1932. 8

ADE

甲H-31

秘

50

朝鮮人移民對策案大綱

昭和七年八月

本  
女  
員  
合  
}



滿鐵經濟調查會第二部  
農業及移植民班

EX-11265

DC82/  
7



79W11923

朝鮮人移民對策案大綱

第一、朝鮮人移民對策根本方針

(方針)

一、既住在滿鮮農ノ安定ヲ圖ルヲ主眼トス可シ

二、鮮人ノ新移住ニ對シ積極的獎勵ヲ行フノ要ナシ

(說明)

從來官憲ノ壓迫、地主ノ搾取、匪賊ノ迫害等ニヨル在滿鮮農ノ窮狀ハ言語ニ絶ス、此儘放棄スルハ正義人道上ヨリスルモ、日本ノ國策遂行上ヨリ見ルモ將又、滿洲治安ノ維持上ヨリスルモ甚ダ好マシカラサル事態ヲ惹起スルニ至ル可ク此際根本的救濟保護ノ對策ヲ樹立シ安定ヲ圖ルノ道ヲ講スルハ最モ緊急ナルモノト信セラレル。

鮮人ノ新移住ニ對スル積極的ノ獎勵ハ在滿鮮農ノ安定ヲ見タル後ニ於テ始メテ考慮ス可キ問題ニシテ現在直ニ其獎勵策ヲ講スルハ反ツテ經濟的、政治的、思想的ニ各種ノ弊害ヲ伴フモノテアル、即チ在滿鮮農ノ安定未ダ固ニツカサルニ新ニ大量移民ノ波來ヲ見ハ在

滿鮮人ノ生活の基礎は農業に在り、其の危殆ナラシムルノミナラス思想的傾向ヲ惡化セシメ、滿鮮ノ治安ニ與シテモ重大ナル惡影響ヲ及ホスモノテアル

(2) 滿洲移民ノ米作問題ト日本農村米價問題トノ關係ハ内地ニ於テ既ニ尖蓋シテ論議セラレテアリ、日本人移民ノ水田經營ニ對シテモ適當ノ統制ト制限ヲ設クルノ要アリトノ結論ヲ見ツツアル、今日水稻栽培ヲ特許トスル鮮人ノ積極的移住獎勵ヲ行ヒ更ニ其爲メニ多額ノ開田費ヲ投下スルハ日本ノ農村問題ヨリスルモ亦邦人ノ對滿移民政策上ヨリ見ルモ當ヲ得タルモノト稱スルヲ得ナイ

(3) 朝鮮農民ヲ滿洲ニ招致シ内地移民ヲ朝鮮ニ入レムトスル代位說モ過去ノ實踐ヨリ其不可能ナルヲ示シテ、朝鮮人ニ對スル積極的滿洲移住獎勵ハ恰モ上記代位說ノ實現ヲ企圖スルモノトノ誤解ヲ抱カシメ、徒ラニ鮮人ノ反感ヲ買ヒ朝鮮統治上好マシカラサル影響ヲ及ホスモノテアル

上記ノ如ク鮮人ノ積極的移住獎勵ハ現下ノ狀勢ニ於テハ其必要ヲ認

メサルモノテアルカ實際問題トシテ見ル場合滿洲ニ於ル治安カ漸次維持セラレ暴政ト妨害ノ除去セララルニ至ラハ招カスシテ移住シ來ルモノ漸次増加スルハ自然ノ趨勢テアル、積極的ニ移住獎勵ノ必要ナキト共ニ之等ノ自然的移住者ニ對シテハ積極的ニ移住阻止ノ舉ニ出ルコト亦不可ナルハ茲ニ喋々スル迄モナイ、之等移住者ニ對シテハ出來得ル限りノ統制ト保護取締ヲ加ヘ、既往鮮人ノ轍ヲ踏ムカ如キコトナキニ努ム可キテアル。

第二、在滿鮮農安定策要項

(安定策要項)

一、日滿兩國間ニ取極ム可キ法律的措施

奧地居住、土地獲得ニ關スル權利、裁判權、產米搬出權等鮮農安定上必要ナル條約上ノ權利ヲ確定擴充セシムルコト

二、散在鮮農ノ集團化助長

最悪ノ條件ノ下ニ散在スル鮮農ノ集團化ヲ圖リ自治的農村ノ建設ヲ助長シ小作農トシテノ地位向上ヲ圖ルト共ニ更ニ進ンテハ自作農制定ノ域ニ達セシムルノ方策ヲ講スルコト

三、農村ノ救済改善ニ必要ナル諸施設ノ施行

農業金融、農村教育、農民衛生問題ノ解決

四、統制機關ノ擴充、新設及統一

現地保護機關ノ増設、施設機關ノ新設

(説明)

一、日滿兩國間ニ取極ム可キ法律的措施

在滿鮮人ノ九割ハ奧地居住ノ農業者ナレハ居住及土地ニ關スル權利獲得、裁判權問題、歸化問題、産米徵出權及其ノ他ノ條約上ノ權利薄弱且法ノ不備ナリシモノニ對シテハ條約上法律上ノ權利ヲ確定擴充セシムルハ在滿鮮人問題解決ノ基礎條件ナリトス。之ハ日本ノ新國家承認兩國間ノ懸案解決ト共ニ當然決定セラル可キモノト信セラルルモ其ノ主ナル問題ニ對スル解決對案ヲ摘録スレハ次ノ如クテアル

(1) 居住權

一九一五年ノ滿蒙條約第二條ニヨル南滿洲居住權ハ之ヲ北滿迄及ホシ、居住ノ基本條件ニシテ未施行ナル同條約第五條第一項後段並該條約附屬交換公文庚戌ニ基ク課稅權警察權ニ關スル滿洲國側法規ヲ帝國領事ト協議ノ上施行セシムルハ勿論ナルモ其ノ内容ハ課稅ニ關

シテハ受益負擔金(例へハ水利稅ノ如キ)ノ性質ノモノニ限り度々警察ニ關シテハ行政警察ニ關スル限り適用セシメ處分ヲ行フモノニツキテハ帝國官憲ノ承諾ヲ要スルコトトシタキモ本件ハ日本人ノ滿洲居住法權問題トシテ當然鮮人モ同一待遇ヲ受ケルコトノ原則トシ前者ノ解決ヲ待ツコト

(2) 土地權

一九〇九年ノ間島協約第五條ニ基ク間島墾地ノ土地所有權、一九一五年滿蒙條約第二條並條約附屬交換公文己亥ニ基ク南滿洲ノ土地商租權ハ既得ノ權利ノ儘トシ、將來ハ全滿ニ於ケル商租權、土地所有權ヲ獲得スルコト

(3) 裁判權

一九〇九年ノ間島協約第四條ニヨリ間島墾地居住韓民ハ清國ノ法權ニ服從セシムルコトトナリ中國側ハ日韓合併後モ一九一五年ノ滿蒙條約成立後モ依然朝鮮人ノ治外法權ヲ拒否スルノ態度ニ出テタリ故ニ我方トシテハ從來臨ミタル肆前ニヨリ治外法權ヲ有スルコト明

認トスル例等ハ必要トスヘシ。

(4) 間島ノ地位  
一九〇九年ノ間島協約ハ帝國力間島ニ對スル清國ノ宗主權ヲ認メタルモノナルト同時清國ヲシテ該地域ニ對スル帝國ノ特殊地位ヲ認メシメタルモノト謂フヘク、又歴史的、現實的背景ヨリスルモ該地域ヲ滿洲國ノ特別區トシ、帝國臣民ニ或程度ノ參政權ヲ與ヘシムルハ必要ナリト思料サル。尙右ノ場合完全ニ課稅權ニ服スルコトトスルモ不可ナカルヘシ。

(5) 歸化問題

歸化ハ土地取得、其ノ他ノ權利並便益享受ノ手段トシテ鮮人間ニ必要ヲ感セシメタルモノナルトコロ、滿洲國ニ於テ前顧各權利ヲ認ムルニ於テハ最早ヤ問題ニ非ス。

(6) 産米搬出權

一九〇九年間島協約第五條ニ基テ間島産米搬出權、一九二四年ノ奉天總領事ト奉天省長間ノ取極ニ基テ奉天省産米二分ノ一ノ搬出權ハ

之ヲ全滿産米ノ無條件無手数料搬出權トシ、特權トセス、一般通商條約ニ於テ輸出禁制品目ヨリ除外シ、防穀令規定中ヨリ米ノ除外ヲ認メシムルコトトス

(7) 三矢協定

一九二五年ノ總督府警務局長ト奉天全省警務處長トノ間ニ於テ協定セラル朝鮮人取締ニ關スル所謂三矢協定ハ事態ノ變改ニ鑑ミ一面朝鮮統治ノ影響ヲ顧慮シナルヘク速ニ廢棄ス

(8) 學校民會

學校及民會ハ中國側ニテ其ノ設置力中國行政權侵害トシテ反對シ來レルカ、右設置力治外法權ノ當然ノ效果タルノ法理論ハ暫ク措キ實際問題ヲ顧慮スルトキハ通商條約ニ於テ學校民會ノ設置ヲ認メシムルノ明文ヲ存シ置キ要アルヘシ

(9) 間島協約

間島協約ハ一九〇九年日韓合併並一九一五年ノ滿蒙條約第八條ノ影響ニ關シテハ、條約文間ノ主張ニ從應アリ、理論ノ當否ハ兎モ角

何等カ明瞭ニナシ置ク必要アルヘク、治外法權ハ有スルコト、居住ニ關シテハ前述程度ニ於テ警察課稅法令ニ服従スルコトノ學前ニ於テ效力ヲ適宜決定スヘシ

(10) 領事館警察

領事館警察ハ治外法權ノ效果トシテ帝國ハ其ノ存置ヲ主張シ來レルカ、奧地内鮮人保護ノ必要ニ鑑ミ警察存置並新設ニ關シ、治外法權ノ當然ノ效果トシテ正式ニ日滿兩國間ニ協定セラルルノ必要アリト認ム

三、散在鮮農ノ集團化助長

廣大ナル地域ニ亘リ最悪ノ條件ノ下ニ散在スル鮮農ニ對シテハ適當地帯内ノ適地區ニ漸次集團的ニ集結セシムルヲ必要トス、之ハ治安ノ維持、衛生教育ノ普及、農事經營ノ改善等ニ伴フ保護取締及指導救済上彼等ヲ安定セシムヘキ重要ナル根本對策テアル。

而シテ其ノ實施ノ方針トシテハ

(1) 集團化ヲ要スヘキ最悪條件下ニアル鮮人分布ヲ系統的ニ調査スルト共ニ之ニ對應スル集團適地帯及地區ノ調査選定ヲ必要トス（從來新方面ニ關スル調査ノ見ルヘキモノナシ）

(2) 集團化ハ先ツ土地ニ豫めアル鮮人居住地區ニ之ヲ求ムルヲ趣向トシ該地區ニシテ簡單ナル水利土木工事ノ施行ニヨリ農耕條件ノ改善、耕地面積ノ擴大ヲ得ル場合ニハ統制會社自ラ該地區ノ買収ト土木工事其ノ他必要ナル施設ヲ爲シ新村ノ設定ヲ行フカ或ハ地主ト



隨意ナキ協定ニ基キ契約ヲ結ビ低利資金ノ融通其ノ他必要ナル指導  
 援助ヲ行ヒ地主ヲシテ工事ノ施行ヲ行ハシム。(地主ノ希望ニヨリ  
 統制機關委託ヲ受ケ自ラ工事ノ施行ヲモ可)而シテ地主トノ  
 小作契約並ニ融通ニ就テハ之ヲ協會ニ先住鮮人ヲモ併セ改善ノ方  
 法ヲ講シ更ニ進ンテハ自作農創定ノ道ヲ拓カシムルノ方策ヲ講スル  
 (3) 鮮人居住地區内ニ集團通地ヲ求メ得サル場合ニハ統制機關自ラ通地  
 ヲ買收シ農村ノ設定ヲ行フヲ理想トスヘキモ經濟上ノ關係モアリ場  
 合ニ依リテハ地主若ハ適當ト認メラルル投資者ノ希望ニ應シ前項同  
 様確實ナル契約ノ下ニ低利資金ノ融通其ノ他援助ヲナシ開田開墾ヲ  
 行ハシメ鮮農ヲ入地セシムル、小作契約、自作農契約及農資融通ニ  
 關シテハ統制機關ノ指定ニヨルヘキハ勿論テアル。

### 三、農村ノ救済改善ニ必要ナル諸施設ノ施行

散在鮮農ノ集團化ニヨル新農村並ニ既存鮮人部落ニ對シテハ地主ノ搾  
 取、官憲ノ暴壓ヨリ解放セシメ根強キ更生農村ノ建設ヲ行ハネハナラ  
 ヌ、目前ノ生活ニ追ハレテ居ル彼等ニ對シ強力ナル自治的組織ヲ求ム  
 ルノ困難ナルハ言フ迄モナイコトテ多分ニ救済的意味ヲ含ム社會政策  
 トシテ必要ナル諸施設ヲ行ヒ長年月ニ渉ル指導誘掖ニヨリ漸次自治農  
 村ノ實質ヲ具備セシムルニ努ムルノ外ハナイ。現在必要ナル施設トシ  
 テ舉ク可キモノ並ニ其實施方針ヲ示セハ次ノ如クテアル

#### (1) 農業金融

(一) 別冊、在滿鮮農業金融對策案ニヨル)

#### (2) 農村教育

(一) 別冊、在滿朝鮮人教育問題對策案ニヨル)

#### (3) 農民衛生

(1) 簡易治療所ヲ主要部落ニ設置

(四) 派遣醫ノ増  
 (ハ) 巡回施療ノ擴大  
 従來朝鮮總督府ニテ各主要都市ニ派遣醫ヲ設置シ  
 フレリ

四 統制機關ノ擴充、新設及統一

(1) 現地保護機關ト其増設

滿洲新國家ノ整備機構ノ完了ヲ見サル今日ニアリテハ現地ノ保護取締リハ従前通り領事館及同警察署ニヨルノ外ナキハ勿論デアル、而シテ現地保護取締ノ有効ニ鑑ミ主要集團地ニ領事館、同分館、同警察署、分署、派出所ヲ漸次新設又ハ擴充スルノ要アリ、將來其ノ新設ニ豫想セラルル主ナルモノ左ノ如シ

寬甸、桓仁、順安、臨江、清原、錦州、開魯、洮南、開原、烟筒山、大孤山、樺樹林子、一面坡、額穆、蛟河、三道溝、堯登帶子、敦化、海林、齊古塔、陶賴昭、扶餘、泰來、東寧、密山、遼中、遼安、三源浦、萬寶山、阿城、烏吉密、三姓、通河

(2) 公共社會施設機關ノ統一改善並増設

従來ノ民會ノ機能ヲ革新擴充シ調査連絡ノミナラス衛生、教育ニ關スル社會施設ノ中區機關タラシム、而シテ民會又ハ同分會ハ主要集團地ニ増設スルト共ニ強力ナル民會聯合會ヲ奉天又ハ新京ニ設置シ

其ノ統制ニ任ス、民會ノ監督ハ領事之ニ當ルハ當然ナルモ其ノ施設方針ノ樹立ハ朝鮮總督府ト協議之ヲ決定スルモノトス但シ滿鐵附屬地ニ於ケル教育衛生施設ハ滿鐵ノ責任ニ於テ之ヲ行フモノトス

(8) 農事施設機關ノ設置

A、第一案

(1) 在滿鮮農並ニ移住鮮農ノ集團化助長、農村建設並ニ鮮農安定ニ必要ナル農事施設ヲ行フヲ目的トシ有力ナル農事施設機關ノ設置ヲ必要トス

(2) 閩島ハ歷史上特殊地域ヲナスモノナレハ朝鮮總督府ニ於テ直轄施設ヲ行フモノトシ本機關ノ統轄外地域トス

(3) 東亞勸業株式會社ハ内地人移民對策ニ伴ヒ組織ノ變更ヲ要ス可ク本機關設置ト共ニ鮮人ニ對スル從來ノ諸事業及施設ハ之ヲ分離シ必要ナル土地財産ハ公平評價ノ上本機關ニ併合セシムルモノトス  
(4) 本機關ハ相當ノ資本ヲ有スル基礎鞏固ナル株式組織ニヨル農事會

社トス、而シテ鮮農安定ヲ特殊使命トシ營利ノミヲ目的トスルモノニアラサレハ其ノ組織モ特殊ノ形態ヲ要スルモノニシテ國家ハ本機關ニ對シ相當ノ保護援助ヲ與フルト共ニ監督ヲ嚴ニス

(a) 出資ノ方法及政府ノ保護

(A) 會社ノ公稱資本二千萬圓トシ四十萬株ニ分チ一株ノ金額ヲ五十圓トス

(B) 二十萬株ハ朝鮮總督府之ヲ引受ケ額面金額(一千萬圓)ヲ拂込ミ十萬株ハ滿鐵出資トシ額面ノ四分ノ一(各百二十五萬圓宛)ヲ初年度拂込ミトス

(C) 政府ハ朝鮮總督府持株ニ對シテハ初年度ヨリ十年迄ヲ限リ利益配當ヲ免除ス

(D) 政府ハ每營業年度ノ利益配當カ朝鮮總督府持株以外ノ株ノ拂込金ニ對シ年六分ノ割合ニ達セサル時ハ初年度ヨリ十年迄ヲ限リ其ノ不足額ヲ補給ス、但シ其ノ補給額ハ株主ノ拂込金ニ對シ年六分ノ割合ヲ超過スルコトヲ得ス

(E) 政府ハ低利資金ノ融通ヲナス

(一) 會社ノ監督

(A) 會社ノ業務ハ朝鮮總督之ヲ監督シ業務執行上必要ナル命令ヲ發

ス

(B) 朝鮮總督ハ監理官ヲ置キ會社ノ業務ヲ監視セシム

(C) 社長及役員ハ朝鮮總督之ヲ任命ス

(D) 利益金ノ處分ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケシム

(備考) 統制會社ノ組織内容ノ詳細ハ別冊在滿鮮農農事統制機關ノ

構成參照

### 第三 移住鮮農ノ統制

朝鮮人ノ滿洲移住ハ積極的ニ獎勵スルノ必要尠モナキコト既述セル所ナルモ自發的ニ渡滿スル移住者ニ對シ積極的ニ阻止スルコト亦不可テアル之ハ自然ノ趨勢ニ從フノ外ナキモ新移住者ニ對シテモ出來得ル限り統制ノ方法ヲ講シ集團農村トシテ收容スルノ方策ヲ講ス可キモノデアアル

第一案ハ理想トシテ是カ實現ヲ希望スルモ現下ノ情勢ニ於テ是カ實行困難ナルノミナラス忽急ノ要ニ應ジ難キ怨アルヲ以テ實行案トシテ更ニ第二案ヲ提議セントス

第二案ハ現存ノ機關ヲ其ノ儘利用セントスル方法ニシテ間島以外ニ於テ朝鮮農民定住ヲ謀ル爲メ現ニ是ヲ行ヘル東亞勸業ヲシテ是ニ當ラシム。但シ東亞勸業ハ日本移民ノ場合ト同シク政府ノ代行機關タルモノニシテ、日本移民ノ場合ニハ拓務省ヲ代行シテ其ノ費用ヲ以テ其ノ監督ノ下ニ移民ノ爲メノ土地獲得及其ノ施設ヲ行フニ對シ朝鮮人ノ場合ニハ總督府ヲ代行シテ其ノ費用ヲ以テ其ノ監督ノ下ニ朝鮮農民ノ定住策ヲ講セシムルモノニシテ兩者共ニ同社ハ事務管理ヲ行フニ過キス從ツテ全部同社ノ特別會計トス、尤モ會社カ農業經營者トシテ從來行ヘル朝鮮人ヲ使用スル水田經營ノ如キハ將來モ同社固有ノ事業トシテ繼續スルノミナラス尙是ヲ擴張スルコトモ隨意トス

22H-31

